

ー私たちはどのように原子力過酷事故とたたかってきたかー
市民放射能測定室の作り方アンケートのお願い

2023年12月25日

この依頼は既に閉鎖した測定室も含め、市民放射能測定室の立ち上げ経験や関わりがあると思われる方にお送りしています。

突然このようなお手紙を差し上げますことをお許しください。私たちは日本各地の市民放射能測定室の有志団体 NPO 法人みんなのデータサイトです。2013年から、各測定室のデータを集約してネット上で検索できるウェブサイトを運営する他、東日本17都県の土壌放射能汚染を調査するプロジェクトなど、様々な活動を実施しています。

今回お手紙を差し上げたのは、みんなのデータサイトが進めている調査研究「実践・市民放射能測定室の作り方（作り方プロジェクト）」の一環として計画したアンケート調査のお願いのためです。福島原発事故直後、全国に多数立ち上がった市民放射能測定室は、事故から12年を経て、測定依頼の減少やメンバーの高齢化等によって閉鎖や活動の縮小が進んでおります。事故直後の混乱と恐怖の中でやむに止まれず苦勞して立ち上げた放射能測定の実験やノウハウをいま収集しまとめなければ消えてしまう。市民が獲得した市民科学の成果を記録し未来へ向けたガイドブック『市民測定室を作る-1.0（仮題）』作りを進めています。ご協力いただいた方には完成したガイドブックをお届けします。ご多忙とは思いますが、ぜひご協力をお願いします。

スケジュール：アンケート締め切り 2024年1月31日

インタビューとまとめ 2024年3月末ごろまで（一部の方に依頼予定）

中間報告 2024年7月末（ガイドブックの完成は2025年を予定）

アンケート内容についてご不明な点があればどんなことでも下記連絡先までお知らせください。

NPO 法人みんなのデータサイト

プロジェクト責任者：藤田康元（つくば市民放射能測定所所属・NPO 法人みんなのデータサイト副理事長）

メール：RXM05777@nifty.com（藤田個人アドレス）、minnanods@gmail.com（代表アドレス）

携帯：090-3902-5801（藤田）

みんなのデータサイト事務所住所：〒960-0201 福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

電話 024-573-5761（水曜定休） 代表メール： minnanods@gmail.com

ウェブサイト：<https://minnanods.net/>

※この事業は2023年度の高木仁三郎市民科学基金の助成を受けています

—私たちはどのように原子力過酷事故とたたかってきたか—
市民放射能測定室の作り方アンケート

NPO 法人 みんなのデータサイト
〒960-0201 福島県福島市飯坂町字一本松 11-7
TEL 024-573-5761
mail: minnanods@gmail.com

- 1 このアンケート調査で得られるデータの扱いについて
 - i 得られたデータはこの調査研究以外の目的には使用いたしません。
 - ii アンケートに回答いただいた測定室の名前のリストを公表したいと考えています。
測定室名の公表が可か不可について、最初の質問項目でおたずねしております。可か不可かどちらかをお選びください。不可を選ばれた場合、測定室名は匿名とさせていただきます。
 - iii 回答者名は一切公表いたしません。
 - iv 項目3からあとの回答結果は公表する可能性があります、その際も基本的には統計処理や加工をしたうえで公表します。また、個々の測定室がどのような回答をしたかが分かるようには公表いたしません。つまり、測定室名の公表を可としていただいた場合でも、それ以外の回答に関してはすべて匿名性が守られます。
- 2 回答方法について
 - i 選択肢からお選びいただく場合と言葉や文章をご記入いただく場合と二種類あります。どちらかは質問文を読めば分かるようになっています。
 - ii 選択肢を選ぶ場合、何を選んだかが分かればよいので、記入の仕方はご自由です。
 - iii アンケート用紙は郵送したものに加えて、電子ファイルでもお送りできます。回答もファイルに入力しての返送でも構いません。こちらをご希望であればその旨ご連絡ください。
- 3 アンケートは電子ファイルでも回答できます。
ご希望の方には、このアンケート用紙の電子ファイル（Word ファイル）をお送りしますので、それに回答を入力して minnanods@gmail.com まで返送してください。
- 4 一つの測定室で、複数人がそれぞれ個別にアンケートに回答して下さっても構いません。その場合は、必要人数分のアンケート用紙をご自身でコピー印刷していただくか、ご希望があればアンケート用紙を電子ファイルでお送りしますのでお知らせください。
- 5 回答の返送期限は **2024年1月31日（水）** とさせていただきます。郵送、電子メールいずれの場合も、それまでにご返送ください。
- 6 このアンケートに関する疑問や質問は、以下までご遠慮なくお寄せください。よろしくお願いたします。

プロジェクト責任者：藤田康元（つくば市民放射能測定所所属・NPO 法人みんなのデータサイト副理事長）

メール：RXM05777@nifty.com（藤田アドレス）、minnanods@gmail.com（代表アドレス）

携帯：090-3902-5801（藤田）

みんなのデータサイト事務所住所：〒960-0201 福島県福島市飯坂町字一本松 11-7

電話 024-573-5761（水曜定休） 代表メール：minnanods@gmail.com

—私たちはどのように原子力過酷事故とたたかってきたか—
市民放射能測定室の作り方アンケート

1 測定室名 公表 可 不可

2 回答者名 () 連絡先 ()

3 測定室の測定活動（ベクレル測定）はいつ始めましたか？

年 月 頃

4 測定室を開いて測定活動をする決めてから実際に開始するまでどれくらいかかりましたか？

年 ヶ月

5 測定活動は今も続けていますか？ どちらかを選んでください。

記入例 はい いいえ あるいは はい ~~はい~~ ~~はい~~ (どちらを選んだか分かれば他の方法でも構いません)

はい いいえ

6 いいえの場合 いつ頃まで続けていましたか？

年 月ごろ

自由筆記欄（中断があるなど具体的な事情はこちらにお書きください）

7 6で「いいえ」と答えた方におききします。活動をやめた理由はなんですか（複数回答可）。該当するものに○をつけてください。なかでも理由として大きいものには◎をつけてください。記入例 ○(1)資金的な問題 ◎(2)測定器が壊れた

- (1)資金的な問題 (2)測定器が壊れた (3)人が足りない (4)測定依頼の減少
(5)場所がなくなった (6)活動のための時間が取れなくなった (7)情熱がなくなった
(8)周囲からの理解が得にくくなった
(9)その他(具体的に)

自由筆記欄（詳しく説明いただける場合はこちらにお書きください）

8 測定室を開設するにあたり、場所をどう確保しましたか？該当するものに○をつけてください。

- (1)測定室のために新たに借りた→ 有償 無償 (2)自宅 (3)以前からの活動場所
(4)その他（具体的に)

9 活動開始後に測定室の引越しをしましたか？

- (1)はい (2)いいえ

(1)の場合、その理由をお聞かせください。また2回以上引越しした場合の経緯など。

10 使用している測定器についてお伺いします

10-1. 使用している・過去に使用していた測定器は何ですか？該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

A. ヨウ化ナトリウムシンチレーションカウンター

(1)Berthold2045 (2)非電化工房CSK-3iシリーズ(型番:)

(3)EMF221 (4)ATOMTEX1320 シリーズ (型番:)

(5)日立アロカメディカル CAN-OSP-NaI (6)応用光研 FNF-401

(7)その他(具体的に)

B. グルマニウム半導体検出器

C. その他(具体的に)

10-2 測定器はいつそれぞれどうやって調達しましたか？またそれは新品でしたか？中古でしたか？調達方法については該当するものに丸をつけてください。複数回答可

測定器名 () 新品・中古

調達した時期(年 月頃)

調達方法

(1)自費で購入 (2)カンパで購入 (3)助成金で購入 (4)測定収入で購入

(5)現物貸与 (6)現物支給

(7)その他(具体的に)

できれば10-2自由筆記欄もご記入ください。

2台以上お持ちの方は以下の欄にご記入ください。

○2台目

測定器名 () 新品・中古

調達した時期(年 月頃)

調達方法

(1)自費で購入 (2)カンパで購入 (3)助成金で購入 (4)測定収入で購入

(5)現物貸与 (6)現物支給

(7)その他(具体的に)

○3台目

測定器名 () 新品・中古

調達した時期(年 月頃)

調達方法

(1)自費で購入 (2)カンパで購入 (3)助成金で購入 (4)測定収入で購入

- (5)現物貸与 (6)現物支給
(7)その他 (具体的に))

○4 台目

測定器名 () 新品・中古

調達した時期 (年 月頃)

調達方法

- (1)自費で購入 (2)カンパで購入 (3)助成金で購入 (4)測定収入で購入
(5)現物貸与 (6)現物支給
(7)その他 (具体的に))

10-2 自由筆記欄 (助成金や現物貸与・現物支給はどこから得たか、立ち上げ時に測定器以外で助成を受けたか等について具体的に書ければお願いします。)

10-3 購入した場合、運搬費用等全てを含んでいくらかかりましたか？複数の測定器を使用している場合はそれぞれについて概算で教えてください。またできれば販売業者・代理店はどこかも教えてください。

測定器名 (具体的に)	総額	販売業者・代理店名
1	円	()
2	円	()
3	円	()
4	円	()

10-4 機器の選択理由について該当するものに○をつけてください。(複数回答可) 理由として最も大きいものには◎をつけてください。

- (1)価格 (2)性能 (3)他の測定室が使っている
(4)その他 ())

自由筆記欄（性能が理由である場合、具体的に書ければそれもここにお書きください。

※当時、検討につかった性能比較表等の資料があれば、別途添付でお送りください

11 放射能測定器以外の測定器についてうかがいます。

11-1 空間線量計を測定室として持っていますか？

- 1)メーカー名・機種名 ()
- 2)メーカー名・機種名 ()
- 3)メーカー名・機種名 ()

11-2 どのような目的で使っていますか？/いましたか？

例：放射能濃度を測定した土壌検体の採取場所の空間線量率を知るため、ホットスポットを見つけるため、検体が強い放射線を出していないかあらかじめ知るため、等。

12 測定室の運営資金をどのように調達してきましたか？該当するものに○をつけてください。複数回答可

- (1)会員の会費 (2)測定料金 (3)カンパ・寄付 (4)勉強会・講演会講師料
- (5)バザーやフリマ等の運営 (6)測定室の貸しスペース (7)測定室のカフェ運営
- (8)助成金 (9)その他 ()

13 測定室運営メンバー(測定の依頼のみの利用者は除く)についておたずねします。どうやってメンバーを集めましたか? 該当するものに○をつけてください。複数回答可

- (1)口コミ (2)フェイスブック (3)ツイッター (現 X)
(4)測定室のホームページやブログで呼び掛けた (5)ポスター (6)チラシ
(7)メーリングリスト (8)集会・デモなどイベントで呼びかけた (9)地元の仲間
(10)生協等のグループで (11)市民活動を通じて
(12)メディアで取り上げられて (13)利用者として来たのがきっかけ
(14)その他 ()

自由筆記欄

14 一人で測定器を扱える測定員の数は何人いますか?

1. 測定室を立ちあげたとき 名くらい
2. 最大時 名くらい
3.今も続いている場合は現在の数、すでに閉室している場合は閉室時の人数 名

自由筆記欄

15 測定員養成はどのように行いましたか？**15-1 該当するものに○をつけてください。複数回答可**

- (1)内部に詳しい人がいた (どんな人:)
- (2)外部の学習会に参加した・専門家に聞いた
(団体名: 教えてくれた人の名前:)
- その人は元々の知り合いでしたか? はい いいえ
- (3)独学(教材の書籍名・サイト名など)

15-2 (1), (2), (3)で得た知識を他の人に伝えて測定員を増やすことはできましたか？

- (1)はい (2)いいえ

16 測定員ではないメンバーはいますか・いましたか？

- (1)はい (2)いいえ

「はい」の場合

人数 人くらい

その役割は? (例: ホームページ担当、会計、顧問、資金調達、影の立役者、大家さんなど)

17 測定室運営メンバーに農業生産者はいますか? いましたか?

- (1)はい (2)いいえ

18 測定室運営メンバーに子育て中の人はいましたか?

- (1)はい (2)いいえ

(お母さん 人くらい お父さん 人くらい)

19 測定室運営メンバーに以下の方々はいましたか？

- | | | |
|-------------------------|----|-----|
| 19-1 食料品流通・販売・加工、飲食店関係者 | はい | いいえ |
| 19-2 放射能・物理の専門家 | はい | いいえ |
| 19-3 放射線測定の実験者 | はい | いいえ |

20 測定依頼をしてきた人たちはどんな人たちですか？（複数回答可）

- | | | |
|-------------------------|----|-----|
| 20-1 生産者 | はい | いいえ |
| 20-2 食料品流通・販売・加工、飲食店関係者 | はい | いいえ |
| 20-3 一般市民（消費者）・家庭菜園 | はい | いいえ |
| 20-4 避難者・裁判原告 | はい | いいえ |
| 20-5 海外の人（海外のサンプル） | はい | いいえ |
| 20-6 公共団体・組合など | はい | いいえ |
| 20-7 他の測定室のクロスチェック | はい | いいえ |
| その他（ | | ） |

21 測定を受け付ける場合の料金や会員制の有無などについて簡単に説明してください。**22 測定検体についておたずねします。**

22-1 これまでに測定した検体を教えてください。（複数回答可）

- (1)農作物 (2)水産物 (3)加工食品 (4)農業資材 (5)土壌 (6)フィルター
(7)ハウスダスト (8)水道水 (9)河川水・井戸水など (10)尿 (11)母乳
(12)その他（

22-2 測定件数は累計でどのくらいですか？

約 件

23 食品の測定方法（測定時間や検体処理の方法など）

23-1 測定時間についてのルールはありますか？該当するものに○をつけてください。

ある →具体的に（ ）

ない

23-2 受け入れていた測定容量は？（複数回答可）

1 リットル 500 ミリリットル 100 ミリリットル 70 ミリリットル

その他（ ）

23-3 測定の検出下限値と測定時間について

- (1) 原則的に測定時間で区切っていた
- (2) 10Bq/kg 未満は不検出とするなど独自の基準を設けていた
- (3) 可能な限り 1Bq/kg 以下を目指すために長時間測定を積極的に行っていた

23-4 最初に決めた方針を後に変えた場合は、その理由とともにこちらに記してしてください。

24 検体処理（刻むなど）は利用者にやってもらっていましたか？ 測定室で行っていましたか？該当するものに○をつけてください。

- (1)利用者にやってもらうのが原則だった (2) 測定室で行っていた

25 依頼者とのやりとりで次のようなことはありましたか？ 該当するものに○をつけてください。

- (1) 検出下限値を下げすぎず「不検出」の結果が欲しいと言われた。 はい いいえ
(2) 検出されたけれども食べても大丈夫ですよねときかれた。 はい いいえ

26 測定機器の精度管理についておたずねします。

26-1 定期的な精度管理は行っていますか？該当するものに○をつけてください。

- (1)はい (2)いいえ

26-2 はいの場合、方法と頻度を教えてください

方法：(1) 専門機関に校正を委託

(2) 独自の方法で→具体的に ()

頻度：() に1回程度。

27 測定結果の公開の方法についておたずねします。

27-1 依頼検体の測定結果は公開していますか？ 該当するものに○をつけてください。

(1)原則的に公開している (2)一部のデータのみ公開 (3)会員にのみ公開

(4)公開していない

その理由を自由筆記欄にお書きください

27-2 公開している場合はどのような方法で公開していますか？該当するものに○をつけてください。

(1)ホームページ・ブログ (2)フェイスブック (3)ツイッター (X) (4)メルマガ

(5)会報 (6)その他の SNS (具体的に)

(7)その他 (具体的に)

28 測定室としての測定以外の活動の内容についておたずねします。以下に測定室として行ってきた活動があれば、選んでください (該当するものに○をつけてください。) (複数回答可)。

(1) 会報発行 (2) イベント開催 (3) イベント出店 (4) 保養 (5) 講演会

(6) 勉強会 (7) その他 (具体的に)

29 他の団体との交流について、有無を教えてください。またどんな交流をしていますか/いましたか？該当するものに○をつけてください。

(1) 他の測定室との交流がある・ない

(具体的に)

(2) 測定室以外の団体との交流がある・ない

(具体的に)

以下の質問はすべて自由筆記で回答をお願いします。

30 測定室が立ち上がった事情・目的・経緯について簡単に説明してください。

31 測定室の活動における工夫・悩みについておたずねします。

次の項目についてどのような悩みがあり、解決した場合はどのように解決したかを教えてください。

(1) 資金

(2) メンバー

(3) 測定器

(4) 測定場所

(5) その他のことで

32 以下の項目で苦労した点があれば教えてください。

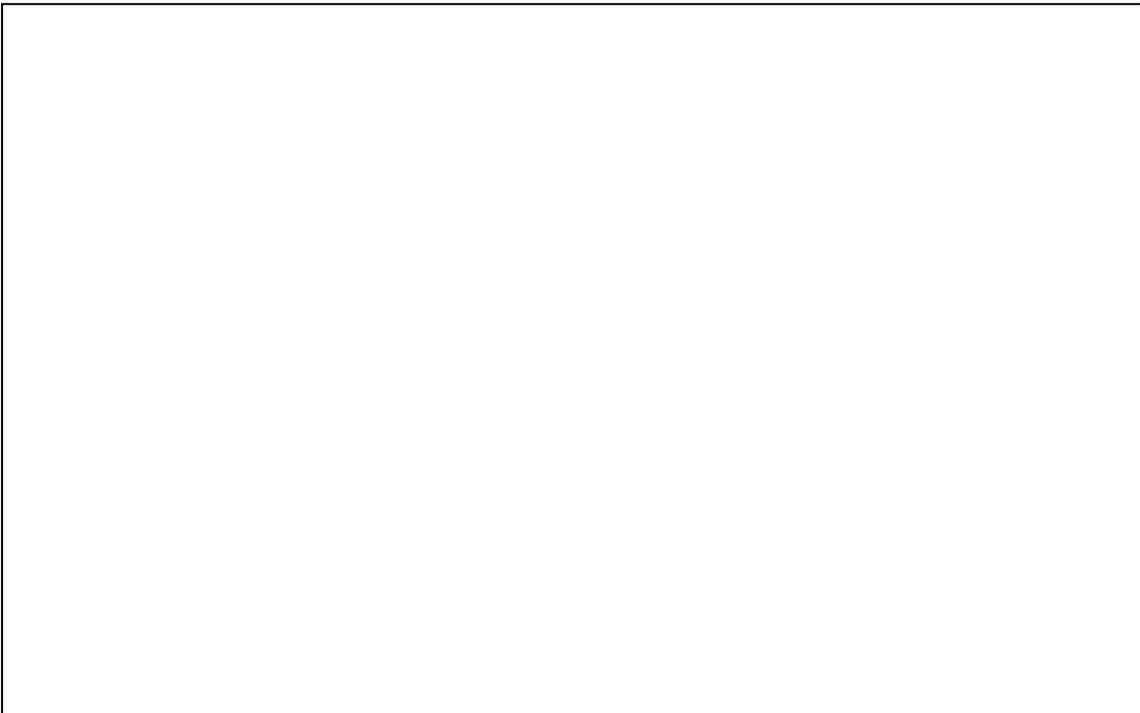
(1) 精度管理

(2) 測定結果の評価

33 測定してよかったことがあれば教えてください。



34 その他ご自由に



以上で質問は終わりです。ありがとうございました。